

QBiC CS-1 RIG KIT

ユーザーズ・マニュアル

目次

安全上のご注意	5
使用上のご注意	10
箱の中身を確認する	16
本機について	17
QBiC CS-1 RIG KIT について	17
各部の名称	18
準備する	19
充電する	19
任意の SSID と Key を設定する	19
レンズを取り付ける	20
ピント調整方法	21
microSD カードをセットする	22
QBiC CS-1 用リグにカメラ 2 台を取り付ける	23
電源を入れる / 電源を切る	25
SSID 及び Key の変更	25
撮影する	26
動画を撮影する	26
静止画を撮影する	27
WiFi を開始する	27
再生する	28
テレビやプロジェクタで再生する	28
HDMI 出力表示アイコンについて	29
スマートデバイスで再生する	32
PC で再生する	32

PC に静止画 / 動画ファイルを取り込む.....	33
マストレージ	33
microSD カード.....	33
ライブビューを見る	34
「QBiC APP」でライブビューを見る.....	34
テレビやプロジェクタでライブビューを見る.....	37
リセットする	38
本機を強制終了する	38
本機を工場出荷設定にする.....	38
「QBiC APP」の各種ボタンについて	39
動画撮影.....	39
静止画撮影	39
グリッド表示.....	40
ホワイトバランス	40
セルフタイマー	41
WDR 撮影（ワイドダイナミックレンジ撮影）.....	41
露出.....	42
解像度	42
電池残量.....	43
録画.....	43
参照先（サムネイル表示）.....	43
編集.....	44
ダウンロード	44
ファイル削除.....	44
送信.....	44

設定	44
メンテナンス	49
本機のお手入れ	49
アップデートする	49
トラブルシューティング	50
アフターサービス	51
仕様	53
本機	53
LED 表示一覧	54
スイッチ動作一覧	55
撮影可能時間 / 撮影可能枚数	56
撮影可能時間の目安	56
撮影可能枚数の目安	56
連続使用可能時間	57
連続使用可能時間の目安	57
商標	58
ライセンス	59
問い合わせ先	60

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、本製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。ご使用前に必ずお読みください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

	名称：禁止 意味：禁止(してはいけないこと)を示します。
	名称：接触禁止 意味：接触禁止(してはいけないこと)を示します。 感電などの人体への傷害が起こる恐れがあります。
	名称：分解禁止 意味：分解禁止(してはいけないこと)を示します。 感電などの人体への傷害が起こる恐れがあります。
	名称：強制 意味：強制(必ず実行、お守りいただくこと)を示します。

 危険	
	自動車、オートバイ、自転車など乗り物の運転をしながら本機の操作することやモニターの表示画面を見ることは絶対におやめください。本機及びモニターの操作は、必ず乗り物が停止した状態で行ってください。 ● 衝突、転倒などの発生、けがまたは死亡、事故の原因となります。事故を防ぐため、法令に従い、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。
	ストラップでぶら下げるなど本機を不安定な状態で、自動車、オートバイ、自転車など乗り物の運転をしないでください。 ● 何かに引っかかり、運転ミスによる衝突、転倒などの事故の発生、けがまたは死亡の原因となります。本機が飛ばされると、近くの人や物に当たり、けがまたは死亡、物の損傷の原因となります。
	本機を自動車、オートバイ、自転車などの外部に取り付けて使用しないでください。 ● 自動車、オートバイ、自転車などの外部に指定されたもの以外を取り付けることは法律で禁止されている場合があります。また法令に従い取り付ける場合であっても、頑丈に取り付け、走行中に外れないように適切な処置をしてください。
	本製品の内蔵バッテリーは充電式リチウムポリマー電池です。温度や湿度の影響を受けやすいのでご注意ください。 バッテリーは本製品の専用品ですので他の機器には使用しないでください。
	本製品を体に装着して使用する場合は事故を防ぐため、周囲の交通や状況に十分に注意してご使用ください。 ● 衝突、転倒などで本機が体に衝撃を与え、けがをする原因となります。
	本機を暖房機器等の熱を発するものに近づけないでください。また火の中に投げ入れたり加熱したりしないでください。 ● バッテリーが発火、破裂し、けがまたは死亡、火災の原因となります。
	可燃性、爆発性、引火性のガスなどがある場所で使用しないでください。 ● 火災や爆発の原因になります。

 警 告	
	本機のケースをこじ開けないでください。 ● 内部には電圧の高い部分があり、発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。 ● 内部の点検・修理は、ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでご依頼ください。
	本機や付属品などを乳幼児の手の届くところに置かないでください。 ● ケーブルを誤って首に巻きつけ、窒息に至る恐れがあります。 ● 本機を足に落したり、踏みつけたり、下敷きにしたりしてけがをする恐れがあります。
	煙が出たり、変なにおいや音などがしたりするときは、すぐに本体の電源スイッチをオフにして、全てのケーブルを抜き、周囲に可燃物がない状態にして、すこし離れた場所で、煙などが出なくなるまでお待ちください。 ● 異常状態のまま使用すると、発火、発煙、感電、やけどの原因となります。 ● 煙などが出なくなるのを確認してから、ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまで修理をご依頼ください。お客様による修理は危険です。絶対におやめください。
	本機を落したり、ぶつけたりして過度な衝撃を加えないでください。本機の上に重たいものを乗せたりして、圧力をかけないでください。 ● 発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。
	内部に水や異物を入れたり、端子部(USB、HDMI およびカードスロット)に直接、配線やピンなどをはんだ付けしたり、異物を差し込んだりしないでください。端子部に規格外のプラグやコネクタなどを差し込んだりしないでください。各端子の接続は根本まで確実に差し込んでご使用ください。 また、濡れた手で触らないでください。 ● 発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。

	本製品は防水保護がされておりません。雨天、降雪、海岸、水辺でのご使用は十分にご注意ください。ご使用中に本製品に異常が発生した場合はただちに電源スイッチをオフにしてください。その後、ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでご連絡ください。 ● 火災・感電の原因となります。
	万一、本機の内部に水や異物などが入った場合は、電源をオフにして、全てのケーブルを抜いてください。 ● その後、ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでご連絡ください。そのまま使用すると発煙、発火、感電、故障の原因となります。
	雷が鳴り出したら本機およびケーブルが接続されている機器には触れないでください。 ● 感電の原因となります。
	自動車内の落ちやすい箇所に置かないでください。 ● 急ブレーキなどで本体が落下してブレーキ操作の妨げにならないように十分ご注意ください。
	撮影時は周囲の状況に注意を払ってください。 ● 周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。
	ストラップを持って、本機を振り回したりしないでください。 ● 人や物に当たり、けが、故障、物損の原因となります。
	USB ケーブルは本機の専用品ですので他の機器には使用しないでください。 ● 発煙、発火、感電、やけどの原因となることがありますので、USB ケーブルの上に重いものを乗せたり、コネクタ部を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。

 注 意	
	飛行機や病院内などで使うときは、航空会社や病院などの管理・監督者の指示に従ってください。 ● 本機が出す電磁波などにより、機材、計器に影響を及ぼす原因になることがあります。
	長時間使用しないときや、お手入れのときは、装着品を取り外して、充電していない状態にしてください。(長時間使用しないときでも、半年に1回は充電してください。長時間充電をしないと充電できなくなることがあります。) ● 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、発煙、発火、火災の原因になることがあります。
	車内など高温になる場所、湿気やほこりの多い場所で長期間の使用や保管をしないでください。 ● 火災・感電の原因となることがあります。 ● 本体が変形して故障する場合があります。
	油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かないでください。 ● 火災・感電の原因となることがあります。
	ケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らないでください。必ずコネクタ部分を持って抜いてください。 また持ち運ぶときは、必ずケーブルを外してください。 ● ケーブルが損傷すると、発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。
	本機からケーブル、ストラップや三脚など装着具を取り外すときは、本機に手をそえて行ってください。 ● 本機がとび出して、落下すると故障やけがの原因になることがあります。
	本機のレンズを直接太陽に向けしないでください。 ● 発煙、発火、やけど、故障の原因となることがあります。
	本機を長時間素手で持たないでください。とくに皮膚が過敏な方は、ご注意ください。本機との接触により、皮膚に炎症が発生した場合、すぐに医師にご相談ください。 ● 本機は熱くなることがあります。長時間素手で持っていると、低温やけどの原因になります。 ● まれに本機の樹脂や金属の材料、材質により、皮膚に炎症を起こす原因になることがあります。

■ 使用上のご注意

- 本製品はアウトドアでの使用も想定しておりますが、製品仕様を超える過度な条件下での使用やお客様の誤ったお取り扱いにより発生する本製品の故障やその他の事象については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。またこのような場合、保証期間内でも無償の修理サービスを受けることができません。

- 事前に必ずためし撮りをしてください。

大切な撮影には事前にためし撮りをして、正常に映像や音声記録されていることをご確認ください。本製品以外の不具合により撮影できなかった場合、当社は一切の責任を負いかねます。

- 使用上の環境条件は次のとおりです。

温度 : 0℃ ～ 40℃

湿度 : 10% ～ 80%

*本機の上に重たい物を載せないでください。

- 付属 USB ケーブルについて

- 本機を充電する際は、必ず付属 USB ケーブルをご使用ください。
- 付属 USB ケーブルは本機の専用品です。他の機器に使用しないでください。
- 付属 USB ケーブルを引っ張ったりしないでください。
- 本機の電源が入っている時は、付属 USB ケーブルの抜き差しはしないでください。

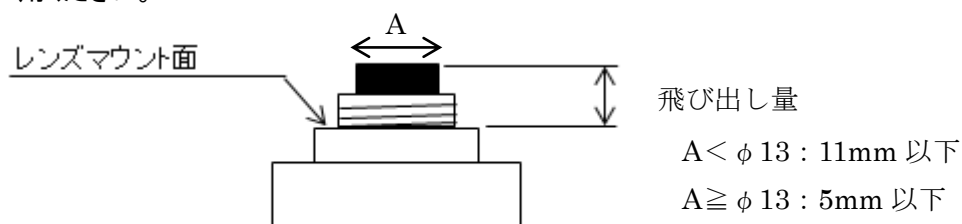
- レンズマウント

CS マウント(フランジバック 12.5mm in air 固定)

- 本製品の適応レンズについて

- CS マウントレンズ

レンズマウント面からの飛び出し量は、レンズ鏡胴 A の直径によって以下のものをご使用ください。



カメラ側でレンズを保持する場合のレンズ重量は 1.0kg 以下とします。

但し、レンズ側で保持されている場合にはレンズ重量の制限はありません。

カメラ側にレンズ等を取付けるときは、傾きがないよう良く確かめてから取付けてください。レンズ側のネジを締め付けの際は不必要に強い力で締め込む事が無いようにご注意ください。また、マウントのネジ部にキズやゴミ等がない物をご使用ください。レンズが外れなくなる場合があります。

使用するレンズによってはレンズ性能を十分に発揮できない可能性があります。

- 本機は赤外線カットフィルターがありません。必要に応じてレンズ側に赤外線カットフィルターを装着してください。

■保護キャップの取り扱い

カメラをご使用にならない時は、撮像面の保護のため保護キャップを取り付けてください。

■ WiFi(無線 LAN)の電波について

- 本製品は 2.4GHz 帯の電波法令による適合証明を受けております。ご購入の国以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。
- 通信状況が悪い場合、設置場所を変更してください。遮蔽物が多い場所など、ご使用環境によっては、通信に悪影響を及ぼす場合があります。とくに次の条件下では通信ができません。
 - － 送受信デバイスの間に鉄筋や金属およびコンクリートがある場合
- 次の条件下では本製品を使用しないでください。
 - － ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器の近く
 - － 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)の近く
 - － 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)の近く
- Bluetooth 機器との電波障害について
Bluetooth 機器と本製品は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、お互いを近くで使用すると電波障害が発生し、通信速度の低下や接続に障害が発生する可能性があります。接続に問題がある場合は、Bluetooth 機器か本製品の電源を切ってください。

■ 次のような場所には保管しないでください。

- 屋外、湿気やほこりの多い場所
- 直射日光のあたる場所(自動車内や窓辺)、高温となる場所
- 氷点下となる場所(寒冷地で暖房のない場所)
- 冷暖房器具の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所

- 自動車や乗り物内など振動の多い場所
- 磁石または磁場の近く
- 薬品などの有機溶剤を使用する場所

■ 寒冷地での使用について

- 低温下で本機の金属部品に直接触れると皮膚に傷害が発生する恐れがありますので、低温下では手袋をはめてご使用ください。
- 低温下ではバッテリー性能が一時的に低下して撮影可能時間が短くなります。

■ 結露について

- 結露した状態で使用すると故障の原因となります。もし本機が結露した場合、電源をオフにして、外側を柔らかい乾いた布で拭いてから湿気やほこりが少なく温度が安定(10～30℃が望ましい)した場所に放置し、完全に結露がなくなってからご使用ください。

■ 内蔵マイクについて

- 本機の操作音を拾うことがありますが、故障ではありません。

■ 撮影について

- 解像度、動画記録品質等の条件により、録画時間の長さは異なります。
- 本機を撮影禁止場所で使用しないでください。退去を命じられたり、法律により罰則を受けたり、警察等による拘束、本機の没収を受ける原因となります。
- 本機を迷惑禁止条例等の法律に違反することに使用しないでください。法律により罰則を受けたり、警察等による拘束、本機の没収を受けたりする原因となります。

■ お手入れについて

- シンナーやベンジン等の強溶剤で本機を清掃しないでください。故障の原因となります。
- 本機の清掃は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
本機に洗剤、(液体)石けん、シャンプー、入浴剤、温泉、海水、日焼けオイル薬品などの飛沫が掛かった時はすぐに乾いた布でふき取ってください。

■ 画面上の輝点、黒点について

- 本機は、多くの画素により構成された CMOS エリアイメージセンサを使用しており、なかには正常動作しない画素が存在する場合があります。出力画面上に輝点、黒点が見られることがありますが、CMOS エリアイメージセンサ特有の現象であり、故障ではありません。

■ SSID 及び Key の変更について

- 変更した SSID 及び Key は工場出荷時の設定に戻すことができます。

■ 記録ファイルについて

- 本製品は精密な電子部品で構成されており、動作中に microSD カードを抜いたり、電源をオフにしたり、通信中に付属の USB ケーブルが外れた場合、microSD カード内のファイルが破壊されたり、消滅したりすることがあります。
- 記録したファイルの破壊、消滅による損害については、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ microSD カードについて

- microSD カードはご使用になられる前に本製品でフォーマットしてください。またフォーマットは本製品以外では行わないでください。カードの種類やメーカーにより使用できない場合があります。本製品でフォーマットを実行する前に、大事なデータは、PC など他の記録媒体へ移してください。
- 本機の電源が入っている時は、microSD カードの抜き差しはしないでください。誤動作、故障の原因になります。
- 使用後や保管、持ち運び時はケースや収納袋に入れてください。

■ microSD カードを廃棄および譲渡するときのお願い

- 本製品および PC の機能による「フォーマット」や「消去」では microSD カード内のデータは完全に消去されません。物理的に破壊するか、市販の PC 用データ消去ソフトを使用してのデータ消去をおすすめします。microSD カード内データはお客様の責任において管理してください。

■ バッテリーの性能、寿命について

本製品に内蔵のバッテリーは、充電式リチウムポリマー電池です。

- バッテリーには寿命があり、温度、使用回数、使用時間、時間の経過につれて、バッテリーの容量は少しずつ低下します。
- 常温(10～30℃)で利用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われます。新しいバッテリーに交換が必要です。ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでバッテリーの交換(有料)をご依頼ください。
- 低温時や高温時には充電できない場合があります。10～30℃の場所にしばらく放置後、充電してください。低温環境から暖かい場所へ移動する際は、結露にご注意ください。
- 本製品のバッテリーが切れると本体内の日時はリセットされます。

■ 本機を廃棄するときのお願い

本製品に内蔵されている充電式リチウムポリマー電池はリサイクルできます。この充電式リチウムポリマー電池の取りはずしはお客様自身では行わず、弊社カスタマーサービスもしくは販売店、最寄りの弊社支店にお問い合わせください。

■ 本機内部高温時の安全動作について

- 電源が入っている時に、本機内部が既定温度になると「電源 LED」がシアンで点灯し警告します。さらに、内部の温度が上がると安全のため、録画を停止させて自動で本機の電源が切れます。高温環境下で使用する場合、動作温度の範囲内でも安全動作が働くことがあります。

■ 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。

最新版は QBiC PANORAMA ウェブサイトでご確認いただけます。

<http://www.elmoqbic.com/panorama/jp/index.html>

■ 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。著作権法上、当社に無断では使用できません。

■ 万一、本製品の使用及び故障、修理、その他の理由により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本書での記載について

メモリーカードの名称を以下のように記載しています。

「microSD」、「microSDHC」および「microSDXC」メモリーカード ⇒ 「microSD」カード

■ 著作権について

個人で楽しむ場合などのほかは、画像および動画フォーマットファイルを権利者に無断で複製することは著作権法や国際条約で固く禁じられています。また、これらのファイルを有償・無償にかかわらず権利者に無断で、ネット上で記載したり、第三者に配布したりすることも著作権法や国際条約で固く禁止されています。万一、本製品が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

ご注意

- * この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- * 本機を使用して撮影される人物やその他の映像で、個人を特定できるものは個人情報となります。
その映像の開示、公開等の取り扱いは、システムを運用する方の責務となりますので、ご注意ください。
- * 書籍、写真などは個人で楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で録画できませんので、ご注意ください。
- * 補修用性能部品について
補修用性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。
この部品保有期間が修理可能の期間となります。

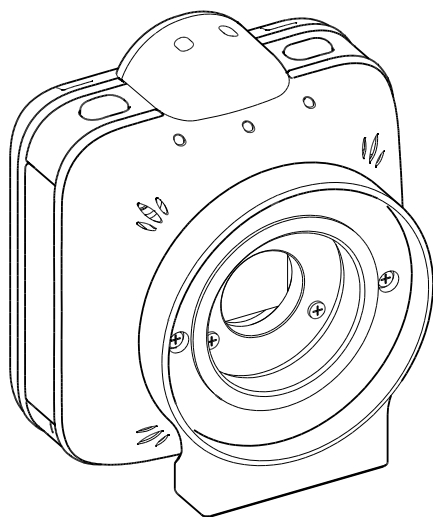


箱の中身を確認する

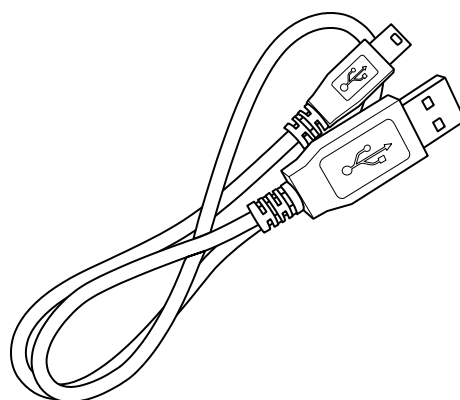
■ QBiC CS-1 × 2 台

単体 (QBiC CS-1) の同梱品:

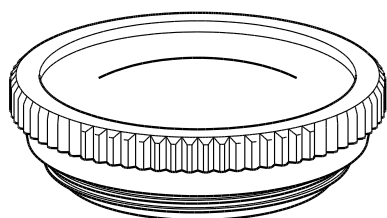
□ 本機 (QBiC CS-1)



□ USB ケーブル (0.2m)

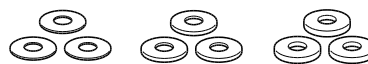


□ 保護キャップ



□ ピント調整用ワッシャー9 枚

(厚み 0.4mm / 0.5mm / 0.6mm 各 3 枚)



0.4mm 0.5mm 0.6mm

■ QBiC CS-1 用リグ (リグ取扱説明書含む)

■ 差し込み資料 (簡易操作資料)

■ 保証書 (各カメラに個別に同梱されています)

出荷に際し、品質や梱包などには万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気づきの点がありましたら、直ちに弊社までご連絡くださいますようお願いいたします。

■ 本機について

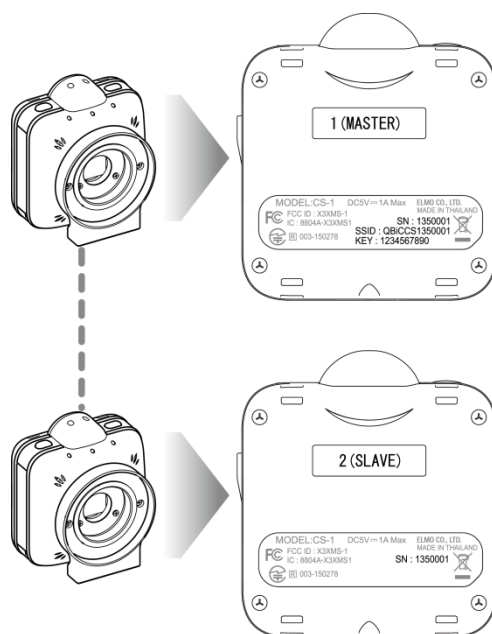
■ QBiC CS-1 RIG KIT について

QBiC CS-1 RIG KIT は 2 台のカメラと QBiC CS-1 用リグ(取付部品)を取り付け、上下左右の動画を撮影するパノラマ用カメラ・システムです。撮影した 2 方向の映像を編集ソフト(市販品)でつなぎ合わせることで、一つのパノラマ動画を作成します。

QBiC CS-1 RIG KIT は同梱されている 2 台のうち 1 台が MASTER(親機)、もう 1 台が SLAVE(子機)です。

専用アプリ「QBiC APP」を使ってカメラ 2 台の設定や録画開始を実行できます。操作は MASTER(親機)と SLAVE(子機)を接続した状態で親機から行います。

* 2 台をセットで使用してください。2 台セットでないと使用することができません。

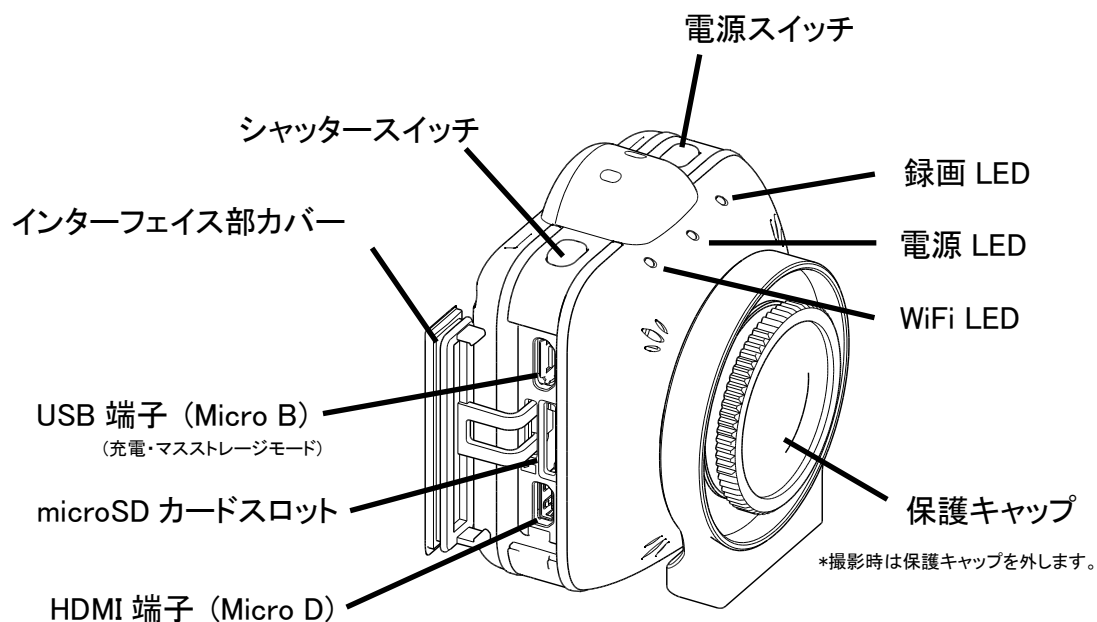


<MASTER(親機)と SLAVE(子機)の違い>

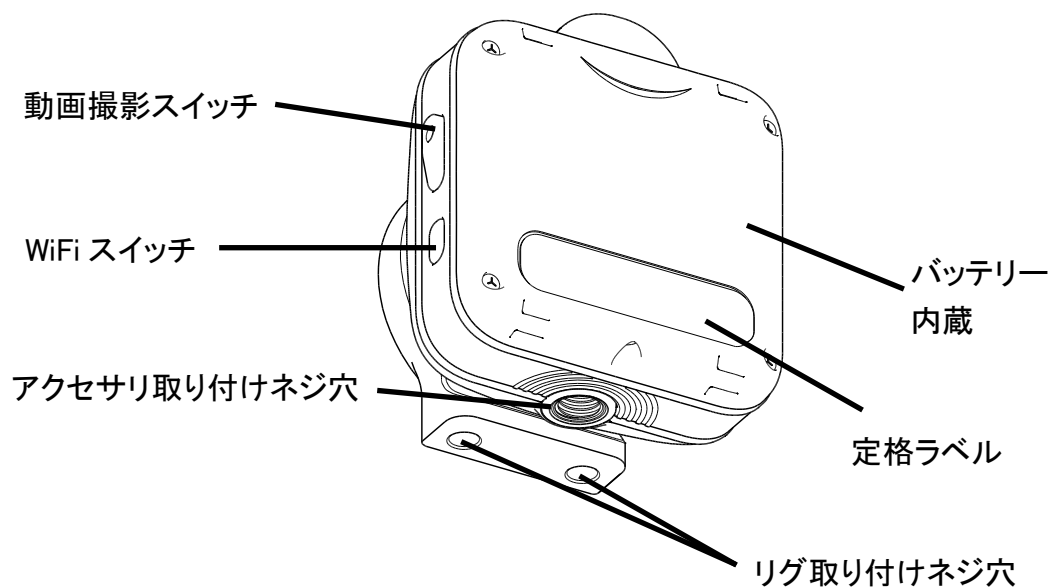
	MASTER(親機)	SLAVE(子機)
カメラ外観	背面シールに『1(MASTER)』を記載	背面シールに『2(SLAVE)』を記載
定格ラベル	モデル名、シリアル No、SSID、KEY	モデル名、シリアル No
WiFi LED	マゼンタ色	青色

■ 各部の名称

前面



背面



*アクセサリ取り付けネジの取付け可能な雄ねじ長さは、5.5mm 以下です。

5.5mm を越える長さのネジを取り付けると、ネジ穴を破損します。



準備する

■ 充電する

本製品はバッテリーを内蔵しております。

- * 本製品のバッテリーはお客様にて取り外しできません。
- * お買い上げ時はバッテリーが十分に充電されておられませんので、必ず充電後にお使いください。

1. 本機の電源を切ります。電源が入っていると充電できませんので必ず切ってください。
2. 本機のインターフェイス部カバーを開け、付属品の USB ケーブルの micro B コネクタ(小さい方のコネクタ)を挿入します。
3. コネクタを電源が入っている PC の USB ポートに挿入すると充電を開始します。
充電中は「電源 LED」が赤色に点灯します。
4. 「電源 LED」が消灯したら充電完了です。



AC アダプタ(別売)について

本機専用の AC アダプタ(別売)をご使用頂くと、連続してご使用することが可能になります。(市販の AC アダプタでは本機が起動しない場合があります。本機専用の AC アダプタをご使用頂くことを推奨いたします。)

■ 任意の SSID と Key を設定する

MASTER(親機)に、任意の SSID と Key を設定することもできます。

その場合、事前の準備として、QBiC PANORAMA ウェブサイトより

「QBiC CS-1 Network Setting Tool v〇.〇.〇.zip」をダウンロードして頂く必要があります。

(v〇.〇.〇の部分はアプリのバージョンです)

<http://www.elmqbic.com/panorama/jp/index.html>

設定方法の詳細は、ファイル解凍後に作成される以下の 3 種のファイルのうち、

「③QBiC CS-1 ネットワーク設定ツール.pdf」を参照ください。

- ① CS-1NetworkSettingTool.msi
- ② ptp_start_file.txt
- ③ QBiC CS-1 ネットワーク設定ツール.pdf

■ レンズを取り付ける

本製品はレンズ用マウントに市販の CS マウントレンズを取り付けて使用します。

CS マウントレンズはご利用用途に合わせ、お客様にてご準備下さい。

1. 本機のレンズ用マウントに CS マウントレンズを取り付ける。
2. CS マウントレンズのフォーカス、絞りを調整して撮影して下さい。

* CS マウントはフランジバック 12.5mm in air 固定です。

適応レンズについての詳細は、次のページをご参照ください。

P.10 本製品の適応レンズについて

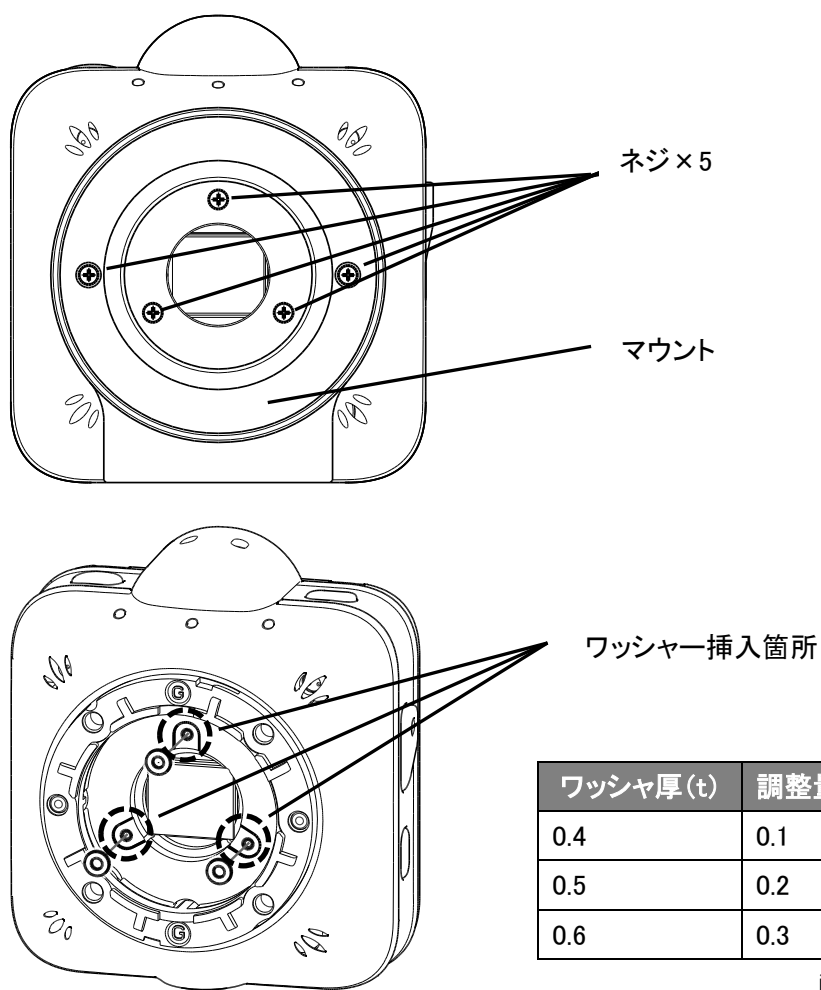
■ ピント調整方法

ピントの調整・確認は、解像度をバックフォーカス調整モード Top,Bottom,Left,Right に切り替えて行うと便利です(P.42 参照)。

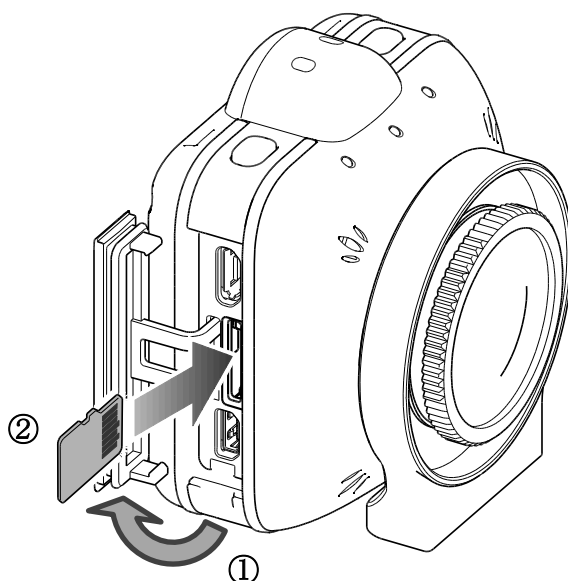
使用レンズの取扱説明書などに記載された方法にてピントの調整をしてください。

* レンズ側の調整をしてもピントが合わない、レンズにピントの調整機能が無い、アオリの調整が必要な場合は、下記方法にて調整をしてください。

1. 5 か所のネジを外し、マウントを取り外す。
2. 破線丸部の溝に付属品のワッシャー(厚さ $t=0.4, 0.5, 0.6$)を組み合わせて入れることでピント、アオリの調整をする。
3. マウントを取り付け 5 か所のネジを締める。



■ microSD カードをセットする



1. 本機側面のインターフェイス部カバーを外します (①)。
2. microSD カードスロットに microSD カード(別売)を挿入します (②)。
 - * 挿入する際、向きにご注意ください。また、microSD カードはカチッと音がするまで挿入してください。正しく挿入されていない場合、エラー発生や本機が故障する原因になります。
3. 側面のインターフェイス部カバーを戻します (①の逆方向)。

本機で使える microSD カードの種類

microSD カードの種類	記録容量	SD スピードクラス
microSD	2GB	—
microSDHC	4 ~ 32GB	Class 10 以上
microSDXC	64GB	Class 10 以上

- * 動作済みの microSD カードは QBiC PANORAMA ウェブサイトでご確認いただけます。

<http://www.elmogbic.com/panorama/jp/index.html>

- * microSD カードは MASTER(親機)と SLAVE(子機)の両方に挿入してください。

■ QBiC CS-1 用リグにカメラ 2 台を取り付ける

QBiC CS-1 用リグの同梱品

□リグ 1

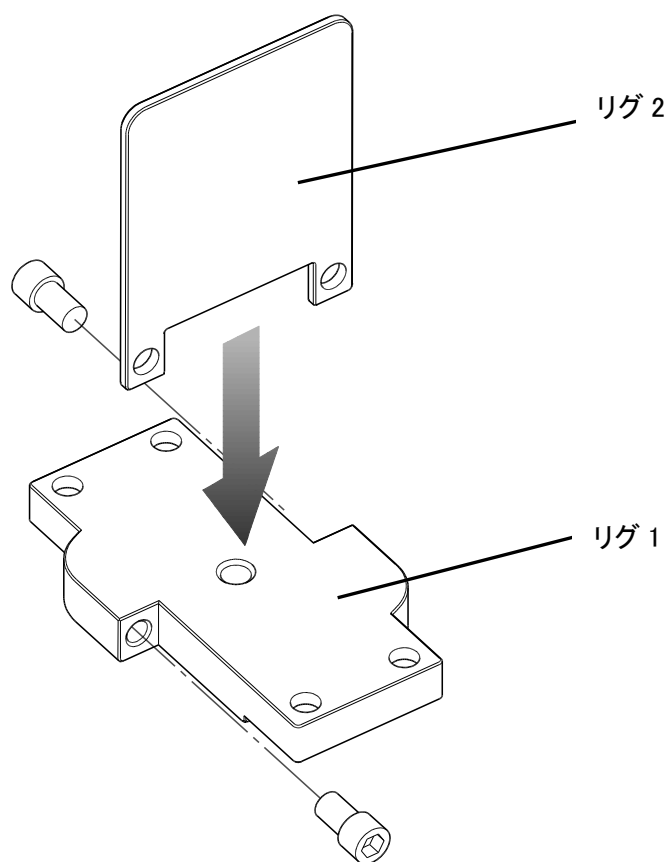
□リグ 2

□ボルト(6 個)

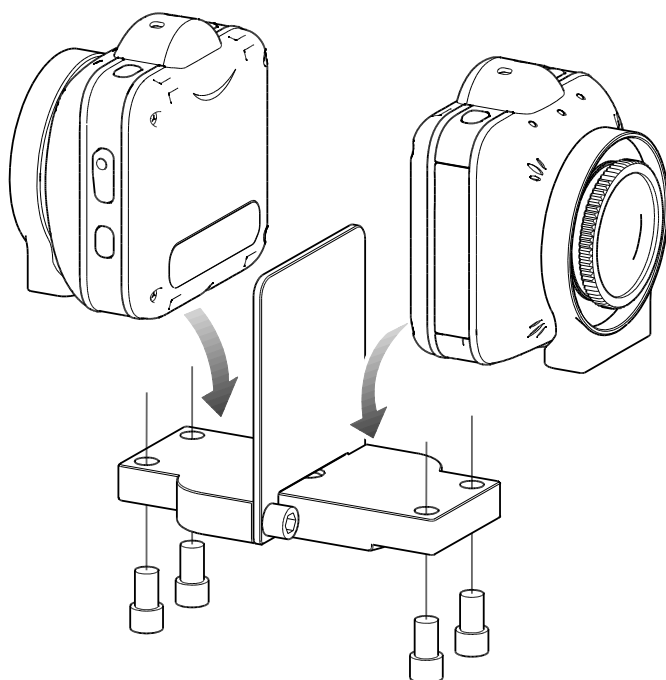
□取扱説明書

□レンチ

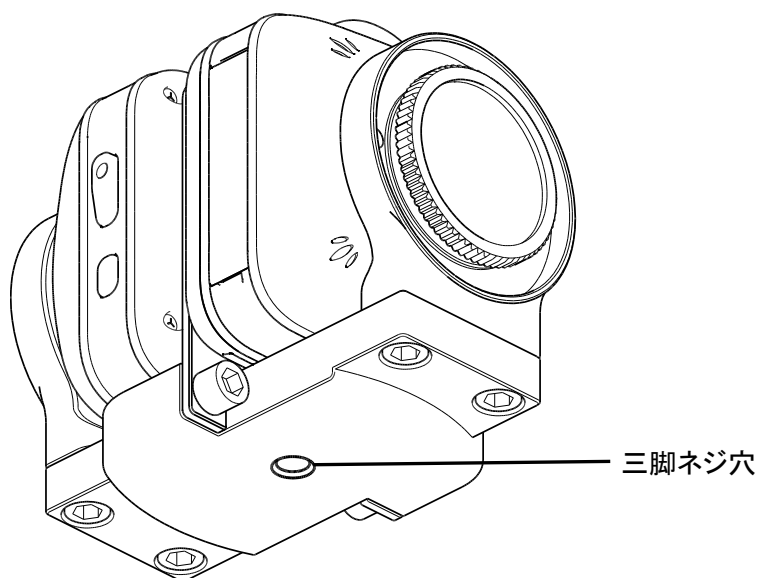
1. リグ 1 にリグ 2 を付属のボルト 2 個でしっかりと固定する。



2. カメラ 2 台を 1. で組み立てたベースに付属のボルト 4 個でしっかりと固定する。



3. QBic CS-1 用リグの底部三脚ネジを利用し、対象物にしっかりと固定する。



* こちらは簡単な取り付け方について記載しております。

■ 電源を入れる / 電源を切る

➤ 電源を入れる

QBiC CS-1 は 1 台が MASTER(親機)、もう 1 台が SLAVE(子機)となります。

MASTER(親機)→SLAVE(子機)の順に 1 台ずつ電源スイッチを 1 秒以上長押しし、2 台の電源を入れます。

MASTER(親機)の WiFi LED がマゼンタ 色に、SLAVE(子機)の WiFi LED が青色に点灯します。

➤ 電源を切る

「電源スイッチ」を 2 秒以上押すと電源が切れます。

2 台とも電源を切り、全ての LED を消灯します。

- * カメラ起動時、WiFi ON 時は MASTER(親機)、SLAVE(子機)ともに WiFi LED が点滅→点灯に遷移します。

WiFi OFF 時は WiFi LED は点灯しません。

(USB ケーブルを PC 若しくは別売りオプションの AC アダプタにて電源に接続されている場合は、充電が始まる為、電源 LED が赤点灯します。)

- * 以下の異常状態になった場合、自動的に電源オフになります。

- 本機の温度が安全に使用できる限界を超えた場合
- 内蔵バッテリーに何等かの障害が発見された場合

■ SSID 及び Key の変更

変更した SSID 及び Key は工場出荷時の設定に戻すことができます。

SSID 及び Key の変更は、専用ツールを使用します。詳細は QBiC PANORAMA ウェブサイトを参照ください。

<http://www.elmoqbic.com/panorama/jp/index.html>



撮影する

「動画撮影」「静止画撮影」ができます。

撮影した動画や静止画は microSD カードに保存されます。

それぞれの設定はスマートデバイスで動作する「QBiC APP」で行います。また、「QBiC APP」を使って撮影することができます。

本機で撮影した動画/静止画は以下のファイル形式で保存されます。

動画 / 静止画	ファイル形式
動画	MPEG4 形式（*.mp4）
静止画	JPEG 形式（*.jpg）



動画を撮影する

本機の「動画撮影スイッチ」を押すと確認音が鳴り、録画を開始します。録画中は「録画 LED」が赤色に点灯します。

「動画撮影スイッチ」を押して撮影を開始した場合は、操作したカメラのみ撮影を行います。

録画中に再度「動画撮影スイッチ」を押すと確認音が鳴り、撮影を終了します。「録画 LED」が消灯します。

「動画撮影スイッチ」を押して撮影を終了した場合は、操作したカメラのみ撮影を終了します。

2 台同時に撮影を行う場合は「QBiC APP」からの操作が必要となります。

「QBiC APP」からの操作方法は、次のページをご参照ください。

P.34 「QBiC APP」でライブビューを見る

SD カード空き容量が 420MB 以上でないと、撮影されません。同様に、420MB 以下になり次第、録画は自動で停止します。

- * 録画中はストリーミングが停止します。
- * SD カードに保存された動画ファイルはアプリでは閲覧できません。PC に取り込み、2 方向の映像を編集ソフト(市販品)でつなぎ合わせてください。

静止画を撮影する

静止画は本機の「シャッタースイッチ」を押すとシャッター音が鳴り、静止画を 1 枚撮影します。記録中は「録画 LED」が青色に点灯します。

「シャッタースイッチ」を押して撮影した場合は操作したカメラのみ撮影を行います。

2 台同時に撮影を行う場合は「QBiC APP」からの操作が必要となります。

「QBiC APP」からの操作方法は、次のページをご参照ください。

P.34 「QBiC APP」でライブビューを見る

WiFi を開始する

本機の「WiFi スイッチ」を 1 秒以上押すと WiFi の開始 / 停止を切り替えることができます。

WiFi が開始されている時、「WiFi LED」が点灯します。

MASTER(親機): マゼンタ色

SLAVE(子機): 青色



再生する

本機で撮影した静止画及び動画は、次の 3 つの方法で再生することができます。

再生される動画は、パノラマ映像ではありません。パノラマ動画を再生するには、撮影した 2 方向の映像を編集ソフト(市販品)でつなぎ合わせる必要があります。

<再生方法>

- ・テレビやプロジェクタで再生する(HDMI 経由の再生)
 - ・スマートデバイスで再生する(WiFi 経由の再生)
 - ・PC を使って再生する(USB 経由の再生)
- * スマートデバイスでは動画の再生はできません。



テレビやプロジェクタで再生する

1. 本機側面のインターフェイス部カバーを開きます。
2. 市販の HDMI ケーブルを用いて、テレビやプロジェクタの HDMI 入力端子と本機の HDMI 端子を接続します。(HDMI ケーブルは本機に接続する端子が「micro D」端子であるものがが必要です。)
3. 本機の「電源スイッチ」を長押し(1 秒)して電源を入れます。本機が起動すると、接続したテレビやプロジェクタにライブビューが表示されます。
4. 本機の「電源スイッチ」を短押しすると、サムネイルモードに切り替わります。
5. 本機にて撮影した静止画や動画のサムネイルが表示されていますので、「電源スイッチ」を押して表示したい画像を選択します。
6. 選択後、「動画撮影スイッチ」を押すと選択した画像を再生します(再生モード)。
7. 再生後、サムネイルモードを選択して「動画撮影スイッチ」を押すとサムネイルモードに戻ります。

■ HDMI 出力表示アイコンについて

HDMI 出力の際、本機のライブビュー表示時やサムネイルモード時、ファイル再生時にテレビやプロジェクタ画面と一緒に表示されるアイコンです。

➤ モード表示

	撮影モード
	サムネイルモード
	再生モード

➤ バッテリー表示

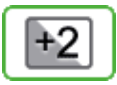
	残量 100% ~ 76%
	残量 75% ~ 51%
	残量 50% ~ 26%
	残量 25% ~ 1%
	残量 0%
	給電中

➤ WiFi 表示

	ON
	OFF

➤ 露出レベル表示

〈自動設定の時〉

	+2
	+1
	0
	-1
	-2

➤ ホワイトバランス表示

〈自動設定の時〉

	自動
	ナイト
	晴天
	曇天
	白熱灯
	蛍光灯

➤ WDR 表示

	ON
	OFF

➤ モード変更

	撮影モード
	サムネイルモード

➤ 表示ファイル切り替え

	動画ファイル表示
	静止画ファイル表示
	動画及び静止画ファイル表示

* シャッタースイッチで表示ファイルを切り替える。

➤ ファイル操作

	再生
	一時停止
	巻き戻し
	早送り
	前のファイルへ
	次のファイルへ

* HDMI 接続後、約 10 秒でアイコンが非表示となります。

■ スマートデバイスで再生する

「App Store」「Google Play」にて公開している、「QBiC APP」を用いて本機内の静止画を再生することができます。

詳細は下記ページをご参照ください。

P.39 「QBiC APP」の各種ボタンについて

■ PC で再生する

microSD カード上の静止画/動画ファイルを PC に移動して、PC 環境で再生することができます。

詳細は下記ページをご参照ください。

P.33 PC に静止画 / 動画ファイルを取り込む



PC に静止画 / 動画ファイルを取り込む

本機で撮影した静止画及び動画ファイルは、マストレージまたは microSD カードを利用して PC に取り込むことができます。

* 接続機器すべての動作を保証するものではありません。



マストレージ

1. 本機側面のインターフェイス部カバーを開きます。
2. 付属の USB ケーブルを用いて、PC の USB 入力端子と本機の USB 端子を接続します。
3. 本機の「電源スイッチ」を長押し(1 秒)して電源を入れます。本機が起動すると、接続した PC がリムーバブルディスクとして認識します。

* 電源を切ってから、USB ケーブルを抜いてください。



microSD カード

1. 本機側面のインターフェイス部カバーを開きます。
2. microSD カードを抜き取り、市販のカードリーダーなどを用いて PC と接続します。

ライブビューを見る

本機とスマートデバイスを WiFi 経由で接続し、本機のモニターとして映像をリアルタイムで見ることができます。また、テレビやプロジェクタでライブビューを見ることができます。

モニターとして使用できるスマートデバイスの OS およびバージョンは、
QBiC PANORAMA ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.elmoqbic.com/panorama/jp/index.html>

* バックフォーカス調整モード時は、HDMI からしか映像を確認することはできません。

「QBiC APP」でライブビューを見る

- 「QBiC APP」をインストールする



iOS、Android とともに、はじめに QBiC 専用アプリケーションをインストールする必要があります。

[iOS]: 「App Store」から「QBiC APP」をダウンロードします。

[Android OS]: 「Google Play」から「QBiC APP」をダウンロードします。

それぞれのダウンロード方法につきましては QBiC PANORAMA ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.elmoqbic.com/panorama/jp/index.html>

- スマートデバイスを接続する
スマートデバイスを使用する場合の WiFi 接続方法についての詳細は、スマートデバイスの取扱説明書をご確認ください。

[本機の操作]

QBiC CS-1 は 1 台が MASTER(親機)、もう 1 台が SLAVE(子機)です。

MASTER(親機)と SLAVE(子機)では WiFi LED の色が異なります。

1. MASTER(親機)→SLAVE(子機)の順に 1 台ずつ電源スイッチを 1 秒以上長押しし、2 台の電源をオンにします。
2. MASTER(親機)の WiFi LED がマゼンタ色に、SLAVE(子機)の WiFi LED が青色に点灯します。



[iOS デバイスの操作]

3. iOS デバイスのホーム画面から「設定」→「WiFi」とタップします。
4. 「WiFi」設定画面の「WiFi」を「オン」にします。
5. 「ネットワークを選択…」内のリスト中から「QBiCCSxxxxxxx」(x は MASTER(親機)のシリアル番号の 7 文字)を探しタップします。
6. パスワード入力画面が表示されますので「1234567890」を入力します。
7. 「接続」ボタンをタップします。
8. 「QBiCCSxxxxxxx」の左側に✓マークがつき、選択されます。
9. WiFi 設定画面をクローズし、ホーム画面に戻ります。

[Android デバイスの操作]

3. Android デバイスのホーム画面から「設定」→「WiFi」とタップします。
4. 「WiFi」設定画面の「WiFi」を「オン」にスライドします。
5. 表示されているリスト中から「QBiCCSxxxxxxx」を探しタップします。
6. パスワード入力画面が表示されますので「1234567890」を入力します。
7. 「接続」ボタンをタップします。
8. 「QBiCCSxxxxxxx」が「接続済み」となります。
9. WiFi 設定をクローズし、ホーム画面に戻ります。

* 本機 1 台に対して、同時に 2 台以上のスマートデバイスを接続した場合は、正常に動作しない可能性があります。

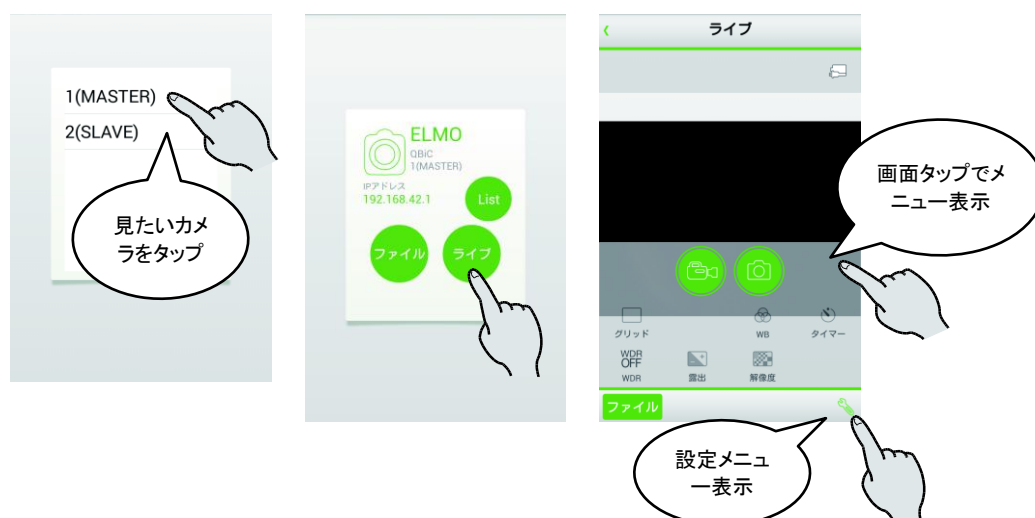
- * SSID 及び Key の変更は、専用ツールを使用します。詳細は QBiC PANORAMA ウェブサイトを参照ください。

<http://www.elmoqbic.com/panorama/jp/index.html>

- * iOS デバイス及び Android デバイスの設定は、バージョンにより異なる可能性があります。詳しくは、各デバイスの取扱説明書/ホームページをご参照ください。

➤ 「QBiC APP」を起動する

1. スマートデバイスのホーム画面より「QBiC APP」を起動します。
2. まず①の画面が表示されたらリスト内「1(MASTER)」 「2(SLAVE)」の中から画角や設定内容を確認したいカメラ名をタップして選択します。次に表示される②の画面は①で選択したカメラのメニュー選択画面です。ライブビューを見る場合は「ライブ」を、撮影したデータを見る場合は「ファイル」をタップします。



- * 「2(SLAVE)」は、パノラマ同期 ON 時に画面をタップしてもメニューは表示されません。
- * アプリ上で通信エラーメッセージが表示された場合は本機とスマートデバイスの設定を再確認し、本機およびスマートデバイスを再起動後、アプリを起動してください。
- * 通信可能な距離はご使用の環境によって異なります。うまく通信できないときは本機とスマートデバイスの距離を近づける、または障害物がない環境で再実行してください。

※バックフォーカス調整モードの時、ライブビューは表示されません。

2 台同時録画スタートを行う場合は必ず「1(MASTER)」より操作を行います。

1(MASTER)のライブ画面を表示させ、録画を開始する場合は「動画撮影ボタン」を、静止画を撮影する場合は「静止画撮影ボタン」をタップします。



録画を停止する場合は、録画中にもう一度「動画撮影ボタン」をタップします。

■ テレビやプロジェクタでライブビューを見る

1. 本機側面のインターフェイス部カバーを開きます。
2. 市販の HDMI ケーブルを用いて、テレビやプロジェクタの HDMI 入力端子と本機の HDMI 端子を接続します。(HDMI ケーブルは本機に接続する端子が「micro D」端子であるものがが必要です。)
3. 本機の「電源スイッチ」を長押し(1 秒)して電源を入れます。本機が起動すると、接続したテレビやプロジェクタにライブビューが表示されます。

* 本機の設定によって、ライブビューの画質が変わります。



リセットする

■ 本機を強制終了する

本機の電源が切れない場合やスイッチを押しても操作できない場合など、「電源スイッチ」を 10 秒以上押すと、本機が強制終了します。

全ての LED が消灯します。

■ 本機を工場出荷設定にする

本機の電源が入っている時に、「動画撮影スイッチ」と「WiFi スイッチ」を同時に 5 秒以上押すと、電源 LED が緑色に点滅し、再起動します。

再起動後、工場出荷時の設定値が設定されます。

本機の工場出荷設定の設定値一覧

項目	設定値
ホワイトバランス	AUTO
セルフタイマー	OFF
WDR	OFF
露出	±0
解像度	1920 × 1440 24fps
測光	中央重点
画像回転	OFF
録音設定	レベル: 5, バランス: 0
自動電源オフ	OFF
WiFi 自動オフ	OFF
録画ファイル設定	30 分
カメラ操作音	100%
ホワイトバランス自動設定	ON
露出自動設定	ON
録画モード	ファイン
パノラマ同期	ON(2 台同時設定)
HDMI 出力設定	自動設定(EDID)



「QBIC APP」の各種ボタンについて

「QBIC APP」に表示される各種ボタンを説明しています。

■ 動画撮影

動画の撮影の開始/終了を切り替えます。

2 台同時録画スタートを行う場合は必ず「1(MASTER)」より操作を行います。

操作方法は、次のページをご参照ください。

P.34 「QBIC APP」でライブビューを見る

	縦表示
	横表示

■ 静止画撮影

静止画を撮影します。

2 台同時撮影スタートを行う場合は必ず「1(MASTER)」より操作を行います。

操作方法は、次のページをご参照ください。

P.34 「QBIC APP」でライブビューを見る

	縦表示
	横表示

■ グリッド表示

ライブビュー上のグリッド表示を切り替えます。ボタンをタップすると順に切り替わります。

	表示なし
	4 分割
	9 分割
	対角線

■ ホワイトバランス

ホワイトバランスを切り替えます。

ホワイトバランスは、2 台ともマニュアルで設定を行ってください。

<自動設定の時>

		自動
		ナイト
		晴天
		曇天
		白熱灯
		蛍光灯

<マニュアル設定の時>

マニュアルで色温度を設定することができます。

色温度： 3000K～8000K

* マニュアル設定を行う際には『P.45 ホワイトバランス自動設定』を OFF に設定してください

■ セルフタイマー

セルフタイマーを設定します。

	オフ
	5 秒
	10 秒
	30 秒

■ WDR 撮影（ワイドダイナミックレンジ撮影）

WDR(ワイドダイナミックレンジ)撮影の ON/OFF を切り替えます。

WDR OFF	WDR ON
WDR ON	WDR OFF

* 現在の状態を表しています。アイコンをタップすることで切り替わります。

■ 露出

露出を切り替えます。

露出は、2 台ともマニュアルで設定を行ってください。

＜自動設定の時＞

	+2
	+1
	0
	-1
	-2

＜マニュアル設定の時＞

マニュアルでシャッター速度とゲインの調整ができます。

シャッター速度: 1/8000[s]～1/30[s]

ゲイン: 0[dB]～36[dB]

* マニュアル設定を行う際には『P.46 露出自動設定』を OFF に設定してください。

■ 解像度

動画の解像度を切り替えます。

	1920x1440 24fps(高画質)
	1920x1440 15fps(高画質)
	1920x1440 30fps(高フレームレート・標準画質)
	1920x1080 30fps(高画質)
	1920x1440 24fps(バックフォーカス調整モード Top)
	1920x1440 24fps(バックフォーカス調整モード Bottom)
	1920x1440 24fps(バックフォーカス調整モード Left)
	1920x1440 24fps(バックフォーカス調整モード Right)

* バックフォーカス調整モードの時、HDMI からしか映像を確認することはできません。APP のストリーミングは停止されます。

HDMI が接続されていなくとも、APP からのストリーミングはできません。

■ 電池残量

本機の電池残量を表示します。

	0%以下
	1% ~ 30%
	31% ~ 60%
	61% ~ 100%
	給電時

* 子機の電池残量を確認する場合は、パノラマ同期の設定を外した状態で子機の設定メニューを見るか、HDMI モニタでしか確認できません。

■ 録画

録画していることを示します。



■ 参照先（サムネイル表示）

サムネイルに表示される参照先を切り替えます。

	スマートデバイス
	本機

■ 編集

ファイルをダウンロードしたり、削除したりすることができる編集モードに移行します。



■ ダウンロード

本機の microSD カード内からアプリメモリーにファイルをダウンロードします。



■ ファイル削除

選択中のファイルを削除します。



■ 送信

選択中のファイルを他のアプリに送信します。



■ 設定

次の項目を設定します。



- * 選択メニューが『ON・OFF』となっているメニューは、Android 端末では、✓の有無で『ON・OFF』を表しています。
✓が入っている場合は ON、✓が入っていない場合は OFF です。

➤ カメラ設定

－ 測光

測光方式(明るさを測る特性)を変更できます。

全体平均
中央重点
全周魚眼

－ 画像回転

画像を 180° 回転することができます。

ON
OFF

－ 録音設定

録音のレベルとバランスの設定を変更できます。

レベル	0 ～ 10
バランス	L5 ～ 0 ～ R5

* L5 に近いほど左側の音が大きく録音され、R5 に近いほど右側の音が大きく録音されます。

－ 自動電源オフ

内蔵バッテリーでの動作中に、未操作の状態が設定した時間続いたら、本機の電源を自動で OFF にする機能です。

OFF
60 秒
120 秒
300 秒

－ ホワイトバランス自動設定

ホワイトバランスを自動制御します。OFF の場合はマニュアルで設定します。

ON
OFF

* ホワイトバランス自動設定は、2 台ともマニュアルに設定を行ってください。

* 露出とホワイトバランスが自動の場合、2 台のカメラ映像が被写体により露出や色がバラバラに変化します。

－ 露出自動設定

露出を自動制御します。OFF の場合はマニュアルで設定します。

ON
OFF

- * 露出自動設定は、2 台ともマニュアルに設定を行ってください。
- * 露出とホワイトバランスが自動の場合、2 台のカメラ映像が被写体により露出や色がバラバラに変化します。

－ 録画モード

録画する際の画質を選択できます。

スーパーファイン
ファイン
ノーマル

－ HDMI 設定

HDMI の設定を変更します。

自動設定(EDID)
1080p 30fps

- * HDMI 接続中に設定を変更しても、反映されません。
設定を反映させるためには、一度 HDMI ケーブルを取り外してから、再度繋ぎ直してください。

－ パノラマ同期

パノラマ同期を設定します。

パノラマ同期 ON 時は、MASTER(親機)からすべての録画開始/終了、静止画撮影、設定変更の操作が可能です。

- * SLAVE(子機)では、アプリ上に「動画撮影ボタン」「静止画撮影ボタン」「各種設定ボタン」が表示されません。
- * パノラマ同期 OFF 時は MASTER, SLAVE にかかわらずそれぞれ単体で操作や設定を行うことができます。(WiFi 接続中であることが条件となります)

ON(2 台同時設定)
OFF(対象 1 台のみ設定)

➤ WiFi 設定

－ WiFi 自動オフ

本機と「QBiC APP」の未接続状態が 5 分続いたら、本機の WiFi を自動で OFF にする機能です。

ON
OFF

パノラマ同期 OFF の場合に有効となります。パノラマ同期 ON の場合は自動的に OFF となります。

－ ネットワーク設定初期化

ネットワーク設定を初期化する。

➤ その他

－ 動画ファイル設定

動画ファイルを指定した再生時間で分割します。

1 分
3 分
5 分
10 分
30 分

－ カメラ操作音

カメラの効果音のボリュームを変更できます。

0% ～ 100%

－ 時刻同期

本機の時刻設定をスマートデバイスと同期することができます。

ON
OFF

－ 電池残量アラーム

本機のバッテリー残量が低下したときのアラームの ON/OFF を変更できます。

ON
OFF

- カメラ SD カードフォーマット
microSD カードをフォーマットします。
- カメラ設定初期化
カメラ設定を初期化します。
* ネットワーク設定の初期化は行われません。

- ファイル送信時の注意非表示
ファイル送信時の注意表示を非表示にします。

ON
OFF

- ダウンロード保存先 *iOS 版のみ
ダウンロードした時の保存先を変更します。

「QBiC APP」に保存する
カメラロールに保存する

- 情報
カメラの FW バージョン・アプリバージョンを表示します。



メンテナンス

■ 本機のお手入れ

- 普段のお手入れ
乾いた柔らかい布でふいてください。
- 水にぬれた場合のお手入れ
乾いた柔らかい布で水分をふき取り、風通しの良い日陰で完全に乾かしてください。
- 汚れがひどい場合のお手入れ
湿らせた柔らかい布で汚れをふき取ってください。その後、乾いた柔らかい布で水分をふき取り、風通しの良い日陰で完全に乾かしてください。
- * 水滴や異物をそのままにしておくと破損の原因になることがあります。砂粒やほこりを取り除くまでインターフェイス部カバーの開閉はしないでください。異物の混入の原因になることがあります。

■ アップデートする

本機のアップデートに対応しています。アップデートは本機のソフトウェアを更新する機能です。アップデートを実施することで新機能を利用できるようになります。

- * アップデートする前に、静止画 / 動画ファイルを PC に取り込むなどを行い、バックアップを取ってください。
1. QBiC PANORAMA ウェブサイト
(<http://www.elmoqbic.com/panorama/jp/index.html>)から
アップデートファイル(cs1fw_xx.xx.xxxx.bin)を PC にダウンロードします。
 2. ダウンロードしたアップデートファイルを microSD カードに保存します。
 3. 本機の電源を切り、microSD カードをセットします。
 4. 本機の電源を入れると、自動でアップデートが開始されます。
 - * バッテリー残量が十分でない場合はアップデートが開始されません。AC アダプタをご使用ください。
 5. 本機が 2 回再起動を行い、アップデートが完了します。



トラブルシューティング

電源が入らない	➤ <u>バッテリーは充電されていますか？</u> バッテリーが十分に充電されていない場合、電源が入りません。充電してから再度実行してください。 ➤ <u>低温の場所で使用していませんか？</u> 低温の環境で使用する場合、一時的に電池の性能が低下している可能性があります。 本機をポケットの中に入れるなどして少し温めてから再度電源を入れてください。
充電されない	➤ <u>本機の電源が入っていませんか？</u> 本機の電源が入っている場合、充電されません。本機の電源を切ってから再度実行してください。
2 台同時の録画ができない	➤ <u>2 台とも SD カードが挿入されていますか？</u> 1 台でも SD カードが挿入されていないと、2 台同時録画できません。SD カードの挿入を確認してください。 ➤ <u>SD カードの空き容量が 420MB 以下ではありませんか？</u> SD カードの空き容量が 420MB 以上でないと、撮影されません。SD カードの空き容量を確認してください。 ➤ <u>子機が接続できていますか？</u> 子機が接続できていない可能性があります。接続を確認してください。



アフターサービス

[保証および修理]

無償保証期間

無償保証期間は、お客様の商品ご購入日より1年間とさせていただきます。

商品に同梱されている保証書は大切に保管してください。

無償保証期間終了後は有償での修理となります。

無償保証範囲

無償保証につきましては、その期間中、QBiC CS-1 RIG KIT ユーザーズ・マニュアルやカタログなどに記載された使用環境・使用方法や注意事項に従ってご使用いただいた場合に限りさせていただきます。

無償保証期間中の有償修理

無償保証対応期間内に関わらず、次のような場合には有償修理とさせていただきます

- (1) 使用上の誤り(QBiC CS-1 RIG KIT ユーザーズ・マニュアルに記載された操作以外の誤操作等)により生じた故障および損傷
- (2) 弊社の指定する修理取扱店以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障および損傷
- (3) 泥・砂・水などのかぶり、落下、衝撃などが原因で発生した故障および損傷
- (4) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、公害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変等による故障および損傷
- (5) お買い上げ後の輸送、移動、落下および保管上の不備等による故障および損傷
- (6) 保証書を紛失した場合
- (7) 販売店名、ご購入年月日等の記載事項を訂正された場合

修理条件

- (1) 修理は、弊社製品のみを対象といたします。
- (2) 修理は、原則弊社にて製品をお預かりした上での修理とさせていただきます。送付される場合の送料、もしくは修理品のご持参、修理品お持ち帰りの際の交通費はお客様のご負担にてお願いいたします。
- (3) 修理を希望される場合は、まず弊社お問い合わせ相談窓口までご連絡ください。連絡先につきましては「お問い合わせ相談窓口」をご覧ください。

[そのほかのアフターサービス]

お問い合わせ相談窓口

QBiC CS-1 RIG KIT に関する次のお問い合わせを承ります。

- (1) 修理に関するお問い合わせ
- (2) 使用方法、販売、その他に関するお問い合わせ

弊社への連絡先に関しては製品に同梱されている保証書をご覧ください。
QBiC PANORAMA ウェブサイトから確認してください。

<http://www.elmqbic.com/panorama/jp/index.html>



仕様

■ 本機

本機	
最大有効画素数	4000 × 3000 (約 1200 万画素)
撮像素子	1/2.3 型 12M CMOS センサー
ホワイトバランス	自動 / ナイト / 晴天 / 曇天 / 白熱灯 / 蛍光灯 / マニュアル(3000～8000K)
動画記録解像度	1920x1440 24fps(高画質) 1920x1440 15fps(高画質) 1920x1440 30fps(高フレームレート標準画質) 1920x1080 30fps(高画質) 1920x1440 24fps(バックフォーカス調整モード Top) 1920x1440 24fps(バックフォーカス調整モード Bottom) 1920x1440 24fps(バックフォーカス調整モード Left) 1920x1440 24fps(バックフォーカス調整モード Right)
記録媒体	microSD microSDHC Class 10 以上 microSDXC Class 10 以上
記録ファイル形式	MPEG4(動画) / JPEG(静止画)
WiFi 対応規格	IEEE802.11 b/g/n
バッテリー	リチウムポリマー電池 内蔵型 3.7V 1000mAh
電池稼働時間	親機 約 60 分 子機 約 90 分
充電時間	約 3 時間以内
インターフェイス	USB micro B, HDMI micro D, microSD カードスロット
質量	95 g
外形寸法 (W × H × D)	54.4 × 61.2 × 37.9 mm *突起部含まず
動作温度	0 ～ 40℃
保存温度	-20 ～ 60℃

■ LED 表示一覧

状態	WiFi LED	電源 LED	録画 LED
電源オン	—	青点灯	—
電源オフ	—	—	—
充電時	—	赤点灯	—
マストレージ	—	緑点灯	—
工場出荷設定中	—	緑点滅（普通）	—
microSD カード フォーマット中	—	—	緑点滅（普通）
アップデート(0% ～ 33%)	緑点滅（普通）	—	—
アップデート(34% ～ 66%)	緑点灯	緑点滅（普通）	—
アップデート(67% ～ 99%)	緑点灯	緑点灯	緑点滅（普通）
WiFi 初期化中 (親機:マゼンタ 子機:青)	点滅（遅い）		
WiFi 切り替え中 (親機:マゼンタ 子機:青)	点滅（普通）		
WiFi オン (親機:マゼンタ 子機:青)	点灯		
WiFi オフ	—		
バッテリー残量 OK		青点灯	
バッテリー残量低下時		青点滅（速い）	
録画中			赤点灯
静止画撮影中			青点灯
セルフタイマー			マゼンタ点滅 (紅紫色)
microSD カード フォーマット失敗	—	—	緑点滅（速い）
microSD カード異常	—	緑点滅（速い）	緑点滅（速い）
温度警告		シアン点灯	
温度異常 ※	—	—	—
バッテリー異常 ※	—	—	—
リカバリ中	黄色点滅（速い）	—	黄色点滅（速い）

※警告音が鳴り、電源が切れます。

* ‘—’ は消灯を示します。

■ スイッチ動作一覧

動作	スイッチ操作	条件
電源を入れる	電源スイッチ（1 秒）	電源が入っていない
電源を切る	電源スイッチ（2 秒）	電源が入っている
動画撮影を開始する	動画撮影スイッチ	電源が入っている 動画を撮影していない
動画撮影を停止する	動画撮影スイッチ	電源が入っている 動画を撮影している
静止画を撮影する	静止画撮影スイッチ	電源が入っている
WiFi を開始する	WiFi スイッチ	電源が入っている WiFi が停止している
WiFi を停止する	WiFi スイッチ	電源が入っている WiFi が開始している
工場出荷設定にする	動画撮影スイッチ ＋WiFi スイッチ（5 秒）	電源が入っている
モード切り替え	電源スイッチ（短押し）	電源が入っている 動画を撮影していない
操作アイコンの選択	電源スイッチ（短押し）	サムネイルモード / 再生モード
決定 / ファイル再生	動画撮影スイッチ （短押し）	サムネイルモード / 再生モード
表示ファイル切り替え	シャッタースイッチ （短押し）	サムネイルモード

* 全ての動作において microSD カードがセットされていること。



撮影可能時間 / 撮影可能枚数

■ 撮影可能時間の目安

撮影可能時間の目安については、QBiC PANORAMA ウェブサイトから確認してください。

<http://www.elmoqbic.com/panorama/jp/index.html>

■ 撮影可能枚数の目安

撮影可能枚数の目安については、QBiC PANORAMA ウェブサイトから確認してください。

<http://www.elmoqbic.com/panorama/jp/index.html>



連続使用可能時間



連続使用可能時間の目安

連続使用可能時間の目安については、QBiC PANORAMA ウェブサイトから確認してください。

<http://www.elmoqbic.com/panorama/jp/index.html>



商標

- **ELMO**、ELMO QBiC は株式会社エルモ社の登録商標です。
- Bluetooth は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- IOS は、米国シスコの商標または登録商標です。
- Android、Google Play は Google Inc. の登録商標または商標です。
- その他本書で使用されている製品名、商品名、サービス名等は各社、各団体の登録商標または商標です。なお、本文中には、™、®マークは明記していません。



ライセンス

ライセンスに関する注意

本製品には、オープンソース・ソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、GNU General Public License (以下「GPL」とします)または、GNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は GPL/LGPL の条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードの入手については開発営業部にお問い合わせください。

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機に記録されています。本機とスマートデバイスなどの端末を WiFi で接続し、端末のブラウザから <http://192.168.42.1/license.txt> へアクセス下さい。



問い合わせ先



株式会社 エルモ社

本社 〒467-8567 名古屋市瑞穂区明前町 6 番 14 号

<http://www.elmo.co.jp>

製品に関するお問い合わせ

開発営業部

TEL: 052-821-3141

FAX: 052-824-4400

E-mail: online-info@elmo.co.jp

修理に関するお問い合わせ

カスタマーサービス

TEL: 052-811-5135

FAX: 052-811-3720

E-mail: service.co@elmo.co.jp

6X1MWMS03 R0_Xxx